

# 一般質問発言通告書

発言順位 9 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年11月25日

三島市議会議員 大房正治様

三島市議会議員 4 番 土屋利絵



質問事項1	新型コロナウイルスの影響を最小限におさえていくための緊急対応について
具体的内容	新型コロナウイルスの影響を三島市もまともに受けていますので、中心市街地の空き店舗が目立ってきている状況でもあります。近隣市町のクラスター発生という新たな局面を見るにつけ、これからますます厳しい経済状況になることが心配されます。飲食、物販、宿泊などは非常に厳しい嵐の中にあり、将来どうするかではなく、明日をどう乗り越えるかを真剣に考えているとの話も伺います。市内企業の新時代の経営に対応しやすい体制づくりをバックアップしていく体制づくりとともに、以下伺います。
	1 空き店舗解消に向けた支援策の緊急対応について
	2 「新しい生活様式」対応型ビジネス導入事業補助金について
	3 三島ブランド等の特産品販売促進を支援していくために、ネット販売などを活用していく試みについて
質問事項2	新たな街づくりに向けて、公共施設の再編を考える
具体的内容	それぞれの公共施設には、現在までの長い歴史、市民の方々の生活、市民の方々の大切な思い出が刻み込まれています。これから公共施設をどうしていくのかという問題は、まさに市民の方々が自分たちで考え、結論を出していかなければならない、将来の三島市を考えるときの、重要なファクターだと言えます。 そして三島市は、公共施設の再編を通して、市民の方々にとってさらに素晴らしい街にしていくという、強い決意が必要に思います。
	1 ファシリティマネジメントの今後をどのように進めていくのか。市民の方々を巻き込んでいく方法、今後のスケジュールについて伺う。
	2 市民、NPO、民間企業との連携について
	(1) ガイドラインの作成について
	(2) 窓口の一元化について
	3 民間、市民の方々、市役所OBなどの力を結集させていくために。
質問事項3	子育て相談窓口のライン活用について
具体的内容	私たちは、本当に悩み始めた時、その悩みを一人で抱えてしまう傾向があります。そんなときこそ心を開いていただくには、行政を信頼できるような長い期間にわたる関わりが必要だと思います。現在、三島市では、電子母子手帳「みしまっこ」アプリへの加入を進めています。窓口相談や電話相談よりも、携帯のラインなどでのメール相談のほうが関わりやすい時代になっている中、以下について伺います。
	1 「みしまっこ」アプリの活用に非常に期待しているが、現在の加入率を伺う。
	2 就学後もその年齢に合わせた情報を届け、国・県が行っている双方向型の相談機能などに結び付けていくことは可能か。